

—町立美術館よりお知らせ—

近藤浩一路作品・写真の寄贈を受けました

神奈川県川崎市在住の太田彰宏氏より、本年8月3日近藤浩一路作品1点と思い出の写真19枚の寄贈を受けました。

寄贈品は、浩一路の母方の実家である大村家(現・富士市岩淵)と親交があった彰宏氏の曾祖父にあたる太田武丸氏が大切に保管していた作品(無題)です。制作年は、落款より大正末期に描かれたと思われます。

装丁は紙本・墨画、雄大な山並の中に生涯見つめた故郷の風景富士が描かれ、雲間からそそぐ光芒は浩一路ならではの表現により川下りを引き立てます。

さらに、写真も当時の岩淵での様子が考察できる貴重な19枚。「記念館である南部町立美術館でぜひ多くの方にご覧戴きたい。」という太田氏の御意向に沿い大切に保管したいと思います。

紹介は、現在改修工事中の為、終了後常設展にてご覧戴きたい思います。



昭和11年12月、近藤はち(浩一路・母)77歳喜寿の祝、親父50年祭を栄光寺にて取行う。

- ・写真一列左から(大村氏・近藤清子婦人・近藤はち)
- ・二列目左から(太田氏)3番目(浩一路)4番目(浩一路の長女・綾子)



岩淵にて祝の写真

昭和元年(大正15)11月 右から二番目(近藤はち)後・和服姿(太田氏)

*他17枚の中には浩一路が震災後過ごした京都の自宅写真(15枚)があり京都時代の画業を偲ぶ貴重な資料となります。お楽しみに。